

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/08/18号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



需給緩和見通しの値下がり続く

NY原油先物相場は、1バレル=62~64ドル水準まで値下がりし、6月2日以来の安値を更新する展開になった。改めて需給緩和見通しを織り込む動きが強まり、下値模索の展開が維持された。世界経済の減速懸念が強くなっていることに加えて、ドライブシーズンの終了時期が近づいていることで需要端境域への移行が警戒されている。その一方で、石油輸出国機構（OPEC）プラスの急ピッチな増産は続いており、需要と供給の双方の要因から需給緩和圧力が強まりやすい環境になっている。8月15日に米露首脳会談が予定されていたことがイベントリスクから下値を支えたが、供給不安を積極的に織り込んでいくような動きは見送られた。

国際エネルギー機関（IEA）は8月13日に公表した最新の月報で、2025年そして26年に向けて、供給過剰が続くとの見通しを示した。需要の伸びが想定以上のペースで鈍化する一方、OPECプラスなどの増産が続くと予想されている。ただし、ロシアとイランの供給が抑制される可能性が指摘されている。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（8月8日時点）は、原油が前週比30万バレル増、ガソリンが79万バレル減、石油精製品が71万バレル増となった。

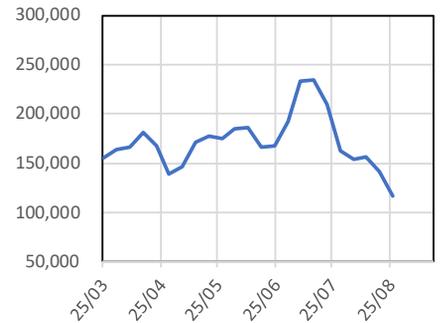
本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【展望】

需給緩和見通しの織り込み続く、60ドルに迫る展開か

需給緩和見通しが強く、60.00ドルの節目に迫る展開になろう。世界経済の減速に加えて、需要端境期入りの兆候が増えると、売り安心感が強化される。大きな供給障害の発生がなければ、供給過剰傾向が原油相場の値下がりをサポートする見通し。特に目新しい売買材料などは浮上しなくても、前週に国際エネルギー機関（IEA）が今年に限定されず、来年も供給過剰見通しを示すなど、マクロ需給要因で価格水準を切り下げ、需要刺激と供給抑制を進める必要性が高い。

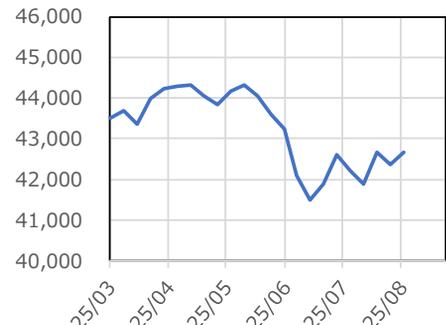
(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

イベントリスクとして注目されていた8月15日の米露首脳会談は、詳細な協議内容は伝わっていないが、停戦に向けてロシアから明確な合意を取り付けることはできなかった模様だ。しかし、トランプ米大統領は成果を誇示しており、直ちにロシア産石油に対する大規模な制裁が科せられるリスクが後退していることはネガティブ。今後の各国との調整を経て、改めてロシア産石油の供給不安を高める動きが浮上する可能性もあるが、当面は需給緩和見通しの織り込みが優先されやすい地合が続く見通し。

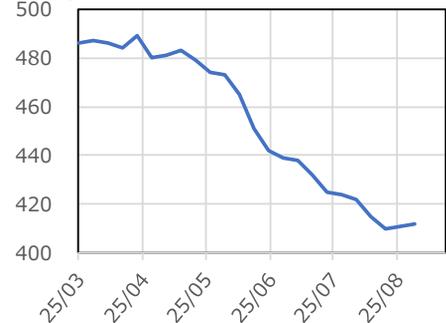
(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

米原油在庫が引き続き過去5年レンジ下限付近に留まっていること、WTI原油先物が逆サヤ（期近高・期先安）環境を維持していることには注意が必要。大幅な在庫取り崩しがみられた場合には、期近限月主導で急伸するリスクは残されている。ただし、ここ数週間は在庫統計に対する反応が鈍くなっており、米週間需給統計を手掛りに大きく買い進むような動きは見送られる見通し。

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

株式相場は、米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げ期待で堅調だが、原油を含むコモディティ市場では景気減速による需要不安の織り込みが優勢の地合が続きやすい。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

